

報道写真家

石川文洋 講演会

六月十四日(土) ホクト文化会館 小ホール
開場十八時 開会十八時三十分 資料代五百円(学生無料)



福島のこと
沖縄のこと
戦争と平和

日本は今なぜ戦争のできる国になろうとするのでしょうか。

だれも戦争をしたい人はいません。

でも、国の力(周辺事態法・秘密保護法等)によって戦争しても仕方がないと思う雰囲気になっています。それに同盟の国がやられたら黙ってみてはられない(集団的自衛権の容認)

それでいいのか?

一人の血が流れれば、万人の血が流れます

私たちの力で、戦争のできる国に絶対してはいけません。



秘密保護法やだネット長野

連絡先 090-2252-0194 (古川)

090-1826-4723 (河西)

メール himitsuyadane@yahoo.co.jp

ホームページ <http://www.himitsuyadane.com/>

ツイッターアカウント @himitsuteppai

後援：信濃毎日新聞社



石川文洋

当日は写真展「石川文洋の見たフクシマ」もおこないます。

いしかわぶんよう◇報道写真家。沖縄県那覇市生まれ、長野県諏訪市在住。1965年から68年までベトナムのサイゴンに住み、カメラマンとして「戦場」を報道。その後朝日新聞社勤務を経て、フリーカメラマンとして活躍。著書に「戦場カメラマン」「報道カメラマン」（朝日新聞社）他著書多数。

戦争と平和、時代と人生を綴ったドキュメンタリー映画

「石川文洋を旅する」

——ベトナム戦争従軍取材から50年——

ベトナム戦争の従軍取材で知られる戦場カメラマン、石川文洋の軌跡をたどったドキュメンタリー。1938年に沖縄に生まれた石川文洋は、世界一周無銭旅行を目指して日本を飛びだし、64年から南ベトナム政府軍・米軍に従軍してベトナム戦争を取材、帰国後は故郷・沖縄をカメラにおさめ続けている。映画は、75歳になった石川とともにベトナムや沖縄を訪れ、その半生を振りかえるとともに、いまなお米軍基地問題に悩まされ続けている沖縄の姿をとらえた。監督は、文化庁映画賞文化記録映画大賞を受賞した大宮浩一。

2014年6月21日より全国順次公開